

「書道 文化遺産に」講演

宇部で推進協 取り組みPR



無形文化遺産の登録に向けた流れなどについて説明する佐藤さん

日本の書道文化が、国連教育・科学・文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録されることを目指している日本書道ユネスコ登録推進協議会（事務局・東京）は12日、宇部市で講演会を開き、取り組みをアピールした。

無形文化遺産登録に向けた機運を高めようと企画。元ユネスコ日本政府代表部

特命全権大使の佐藤地（く）さんが登壇し、県内の書道関係者ら約200人が耳を傾けた。

佐藤さんは登録に至るまでの流れや登録基準などについて説明。「書道文化を受け継ぎ、発展させることは容易ではないが、世界の多様性のためにも大切なこと」と語った。